

経産省前テントひろばニュース

テント強制撤去から 3217 日原発再稼働糾弾！

第315号

編集・発行

テントひろば運営委員会

**1960 年 6 月 15 日国会南通用門前にて
安保条約改定阻止の闘いを記念する
樺美智子さんの追悼集会を終えて**

樺美智子追悼集会は、今年も9条改憲阻止の会の呼びかけで6月15日(日)に開かれました。この日、国会南通用門前には呼びかけにこたえて、例年並みの40余名の人々が参加しました。

60年6月15日から65年という長い年月を経た今、なお国会南通用門前に集う人々には、昨日のこのように60年日米安保条約改定阻止の闘いの記憶が残っています。この日の国会南通用門から国会構内への突入は、二度に亘って行われています。その一次突入で、樺さんは警官隊の暴力で虐殺されました。二次の構内突入で開催された集会では、リーダーから「女子学生が殺された。全員で黙とうを！」との呼びかけがありました。

そのあと、構内からデモ隊は排除されましたが、国会正門周辺に集まり投石で警官隊と渡り合います。デモ隊の一部は執拗に抵抗し、警察車両に火をつけましたが、次第に形勢が不利になったデモ隊は、新橋駅や有楽町駅方面に後退したのです。次第に追い詰められたデモ隊の一部は、警視庁構内に逃げ込み、吉本隆明氏らはそこで捕まって数日の間、留置所に拘留されました。

6・15の戦いを、60年安保の最後の戦いと位置付けたのはブンド(共産主義者同盟)を中心とする全学連指導部でしたが、安保条約破棄を目指す闘いは、彼らの目標とは違って暴力を排し、議会主義を守れという流れに舵を切ります。6・18の国会前には、

通称30万人のデモ隊がいましたが、6・15を戦った全学連指導部には、為す術もなく翌19日早朝の安保自然承認の日を迎えてしまうのです。

この闘いの後、岸内閣は退陣を表明し経済成長を優先した池田内閣に代わるのですが、政治の季節は急速に収束して行きました。しかし、岸が目指した憲法改悪は阻止されて、その後の自民党政権は憲法改正には慎重になります。そして今日まで、改憲発議はできないのが安保闘争の成果といえるでしょう。

そして21世紀の今日、アメリカとロシアの覇権主義は止まる動きがなく、あらたな世界戦争の危機が迫っています。2025年6月19日；平岡 臣 実 記

本格焼酎「脱原発 no nukes」を販売します！

23年年3月から販売を始めてから30ケース以上の売り上げを達成し、皆様のお力でテントひろばの財政はこれまで支えられてきました。

この7月は毎週金曜夕方5時からの経産省前集会にて、4合(720ml)ボトル(1500円)を販売します。国、電力会社による老朽原発の再稼働を許さず、「脱原発」を貫抜こう!! 事前申込を受付けます。

経産省前テントひろばに電話(070-6473-1947)で注文しましょう。右図のボトルラベルは281さんにデザインして頂きました。



電話にて注文の際は、①氏名、②当日受取、あるいは後日受取日をお知らせ下さい。当日受取は3時から6時まで。後日受領予定の方は、経産省前の連日抗議行動時間(毎日12時から4時、土日休日は3時まで)内の受取希望日時をお伝えください。自宅等への郵送希望の場合、その旨を明示し裏面記載の郵便振替口座にご入金ください。なお送料は着払いになります。EO

青空川柳句会

5月25日(日)12時より脱原発青空テント川柳句会が開催されました。

曇っていたため過ごし易く、涼しい風の吹く一日でした。今回の川柳句会参加者は九名。

席題は「説明」「意欲」14時35分投句締め切り、14時45分より入選者の発表、披露となりました。

選者の乱鬼龍さんより入選句が読み上げられ、「原発は未完の技術」みかん(甘夏)、「運動のノリを良くしよう」おかずのり、「原発はイん」イカの缶詰など、数々の賞品が入選者へ手渡されました。

入選句は以下の通りです。(S・E)

「説明」

有識者 説いて明らか 嘘の聞 - 海の民
特選 秀句

・原発は何処まで続く事故なしか - 三里塚
・説明が足りないだけか間違いは - 芒野
・望まぬに何故原発を再稼働 - 幸柳
・悪法案答弁 お花畑なり - ふ64
・説明を判らぬあなた 教授なの? - 原子力ガリレオ

「意欲」

机上だけ 避難計画 意欲なし - 芒野
特選 秀句

・意欲ゼロ増産するは 餓死者なり - 海の民
・国窮し 街宣石翼も 民救え - ふ64
・国救う 意欲ない人 国会に - 原子力ガリレオ
・カジノへの 意欲捨てろよ 維新ども - 幸柳
・やるやると 口だけ金だけ 自分だけ - ヤンキリシタ

・次回(29日)の脱原発青空テントひろば川柳句会では、六月29日(日)12時より開催いたします。是非ご参加ください。是非ご参加ください。

戦争の時代を

終わりにしなければならない 乱鬼龍

「平和のための日本民衆外交団」がイラン大使に面会

在日イラン大使から直接お話を聞きました…

多くの皆さんが、既にご承知のように、イスラエルは、イランに対して(6月13日)軍事攻撃に出た。

そうした緊迫する情勢の中、6月19日(木)私たち「平和のための日本民衆外交団」(4名)は、「イラン・イスラム共和国」大使館を訪ねて、ペイマン・サアグト大使(他館員の方ら4名)と面会することができ、今日の厳しい状況の中、大使から約2時間もの間、お話をお聞きすることができた。

イスラエルは核不拡散条約に加盟せずの国

開口一番、大使は「6月13日以来のイスラエルによる攻撃によって約250名以上が死亡、7千人以上の負傷者が出ている。イスラエルはNPT(核不拡散条約)に加盟せず核兵器の説明責任を拒否しているが、イランはNPTに加盟し、IAEA(国際原子力機関)の査察も受け入れていると強調。戦争による唯一の被爆国で、その怖さを知っている日本人たちと共に平和をめざしたい」等々、話された。

大使からは、「近々、広島を訪ねて『原爆資料館』へ行き、またできれば「日本被団協」の人たちとお目にかかって学びたい…」というお話でした。そこで、私からは知り合いにそうしたことの“適任者”がいるのでと、その方をご紹介した。

私たちは、長年にわたって“西側のプロパガンダ”により“洗脳漬け”に晒されていて、今回の件なども「アメリカ発」、「イスラエル発」の情報ばかりで、一体、一方の当事国であるイラン、あるいは中東諸国は

一体どのように考え、判断し、行動しようとしているのか—さっぱり判らない。

こうした中で、イラン大使から直接、生の声を伺うことができたのは、大変貴重な経験だった。

このような行動を、更に輪を広げて、少しでも、平和の方向へ向かう努力を続けていきたいと思う。

この文章は、たんぽぽ舎メールニュース No5218 にたんぽぽ舎会員の乱鬼龍が寄稿した。テントひろばニュースの編集委員でもある、乱さんの了解を頂き転載しています。

集会・行動予定

◆ 6月25日(水) 12時~13時
原子力規制委員会前抗議行動(毎週水曜)

◆ 6月27日(金) 17時~18時
経産省前抗議集会(毎週金曜)

主催: 経産省前テントひろば 場所: 経産省正門前
◎ 経産省前の座り込み行動は、平日:12時~16時(月~木)、13~17時(金)、土・日・休日:12時~15時 ◎

◆ 6月29日(日) 12時~15時
脱原発・青空川柳句会
主催: 経産省前テントひろば・乱鬼龍

◆ 7月2日(水) 17時より18時
第84回日本原電本店抗議行動 日本原電本店前にて

◆ 同日 18:45より19:45
第142回東電本店合同抗議行 東京電力本店前にて
呼びかけ: 「経産省前テントひろば」 070-6473-1947
「たんぽぽ舎」 03-3238-9035

《経産省前テントひろば》

住所: 〒105-0003 港区西新橋1-21-8 新虎ビル2F
・電話: 070-6473-1947
・郵便振替口座=00160-3-267170
・口座名義= 経済産業省前テントひろば
WEB: <http://tentohiroba.tumblr.com/>
Mail address: tentohiroba@gmail.com